

立命館中・高の教育と学費を考える集い

2025年2月15日(土) 11:00~12:30「立命館中・高の教育と学費を考える集い」を開催しました。当日は23名の保護者の皆様、東谷中学校・高等学校校長をはじめ執行部の先生方、東事務長にご参加いただきました。

はじめに、PTA会長の挨拶があり、その後Classiにて事前配信いただいた資料「立命館中学校・高等学校2024年度教育の現状と課題—財政・学費報告を兼ねて—」をもとに教育の現状や学費について詳しくご説明いただきました。PTA本部から事前アンケートを取らせていただいた「学校教育について満足しておられますか?」については8割8分の方が満足されており、「学校教育と学費はバランスが取れているかと思いませんか?」については、7割5分と昨年とほぼ横ばいとなりました。どちらも昨年に引き続き高い数値ではあるものの、教育と学費とのバランスにはやや課題を残していると受け取れる結果でした。

子ども達が充実した学校生活を送り成長するためには学校が掲げる目標と重点課題に対して、私達保護者も理解を深め学校と手を取り合い、教育と学費についても日頃から目を向けその課題解決に協力する必要があります。今後も学校と保護者が協力し継続した課題解決に向け協働してまいりたいと思います。引き続き、保護者の皆様、執行部の先生方何卒よろしくお願い申し上げます。

私学助成委員会より

私学助成の署名を12月23日京都府に、2月20日には国会に提出させていただきました。

2024年度は全国で228万96筆の署名が集まり、京都府では77,780筆、本校では24,260筆が集まりました。

今年度も署名にご協力いただきました皆様、袋詰め作業から集約作業までお世話になりました私学助成委員の皆様、今年度私学助成にご協力いただきました全ての皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。

参加者から一言感想より

- ・先生方の教育への熱意や、学費に関するこれからの方向性が聞けてよい機会でした。
- ・今年度の報告資料のなかで課題研究の視野が広がっているとの表記がありホッとしました。立命館の代名詞であるSSHや国際の活動はCL、コアのコースの生徒には関わりのないように見えていたので我が子も関わりをもつチャンスができていたと思えました。
- ・大阪府の授業料問題で大阪府の生徒の学校負担分を他府県の生徒が支払うことになるという説明があったが、コアコースにいるものとしては、国際系のことに関わるチャンスもないのならコアの授業料はコアで使ってほしい思いました。国際に関わるチャンスがないのならせめて、補習などの強化をいただき、塾や家庭教師に追加費用を使うことなく授業についていけるようにしてもらいたいと感じてました。視野が広がっているならチャンスを活用する思いをもつ子に育つように家庭でも働きかけをしたいです。
- ・校長先生をはじめ執行部の先生方と保護者が直接学費と教育内容が合っているのかの話ができるこのような会は大変貴重だと感じました。他の学校にはないと思います。立命館がさらに良くなるために長く続けていただきたいです。(一部抜粋)

